

平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年1月28日

上場会社名 養命酒製造株式会社 上場取引所 東名
 コード番号 2540 URL <http://www.yomeishu.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塩澤 太朗
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 田中 英雄 (TEL) 03-3462-8138
 四半期報告書提出予定日 平成27年1月30日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の業績 (平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	10,307	1.0	1,942	△0.4	2,206	1.6	1,621	4.1
26年3月期第3四半期	10,205	6.7	1,950	27.0	2,171	24.3	1,557	51.8

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	59.19	—
26年3月期第3四半期	52.05	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	40,358	34,802	86.2
26年3月期	37,058	32,431	87.5

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 34,802 百万円 26年3月期 32,431 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	—	—	18.00	18.00
27年3月期	—	—	—		
27年3月期(予想)				18.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の業績予想 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,490	4.0	2,250	2.1	2,480	1.3	1,690	2.4	61.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
 (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料の4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期3Q	33,000,000株	26年3月期	33,000,000株
27年3月期3Q	5,597,458株	26年3月期	5,596,481株
27年3月期3Q	27,403,113株	26年3月期3Q	29,925,977株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
第3四半期累計期間	7
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間(平成26年4月1日から平成26年12月31日まで)におけるわが国経済は、政府の経済政策や金融政策により企業収益や雇用情勢に改善の動きが見られたものの、円安の進行や消費税率引上げによる個人消費への影響もあり、引き続き先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社の関連業界におきましても、生活防衛意識や節約志向、業種業態を越えた企業間競争の激化が続き、厳しい状況で推移いたしました。

このような状況の中で当社は、「生活者の信頼に応え、豊かな健康生活に貢献する」という経営理念の下、「持続的成長に向けた事業構造の変革」を基本方針とする中期経営計画の最終年度として、「養命酒」の効率的かつ効果的な販売促進活動により、「養命酒関連事業による安定的収益基盤の構築」に努めるとともに、この収益基盤に基づき、新商品の開発、販売に注力するなど、「新規事業領域の拡大と成長性の確保」の各施策に取り組んでまいりました。

当第3四半期累計期間の業績は、「養命酒」の売上が消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動により4月から5月にかけて影響を受けたものの、その後は前年を上回る基調で推移し、新商品等の売上也も寄与したことにより売上高は10,307百万円(前年同四半期比1.0%増)となり、営業利益は1,942百万円(前年同四半期比0.4%減)、経常利益は2,206百万円(前年同四半期比1.6%増)となりました。四半期純利益につきましては、社有地売却に伴う固定資産売却益260百万円を特別利益に計上し、1,621百万円(前年同四半期比4.1%増)となりました。

セグメント別には以下のとおりです。なお、当社は、第1四半期会計期間より、セグメント情報の区分を「養命酒関連事業」及び「施設運営事業」から「養命酒関連事業」の単一の報告セグメントに変更しており、前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後の区分に組替えた数値で比較しております。

①養命酒関連事業

養命酒関連事業の売上高は10,119百万円(前年同四半期比0.3%増)となりました。

<養命酒>

国内における「養命酒」につきましては、安定的な販売を堅持することを目的に、新規顧客の獲得と継続的な飲用に繋げるための効率的な販売促進活動に努めました。「胃腸不調」、「肉体疲労」、また、冬場に向けては「冷え症」などの日常的な症状への効果を訴求し、提供番組へのテレビ広告、テレビスポット広告、交通広告、ラジオ広告、雑誌とのタイアップ広告等の各種広告を実施するとともに、店頭における販売促進活動を展開し、話題を喚起するためのウェブキャンペーン、「養命酒」への理解を促進するための健康セミナー等を実施しました。4月から5月にかけて消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動による影響を受けたものの、これらの施策によりその後は前年を上回る基調で推移し、国内における「養命酒」の売上高は8,908百万円(前年同四半期比1.1%減)となりました。

海外における「養命酒」につきましては、東南アジア諸国を中心として「養命酒」の理解と知名度の向上を目指し、各国の市場環境に即した販売促進活動を構築するための市場調査を実施し、現地代理店を通じた店頭での大量陳列による露出向上や試飲会などの店頭販売促進活動、ウェブを利用した広告活動を実施しました。また、最大の商戦期である春節に向けてテレビ広告を開始しました。海外における「養命酒」の売上高は383百万円(前年同四半期比4.2%増)となりました。

以上の結果、「養命酒」全体の売上高は9,291百万円(前年同四半期比0.9%減)となりました。

<その他商品・サービス>

「ハーブのお酒」につきましては、「ハーブの恵み」の売上は前年同四半期を下回ったものの、「フルーツとハーブのお酒」は、平成26年4月より「フルーツとハーブのお酒スパークリング」を発売しラインナップを強化したことに加えて、店頭での試飲会の実施、季節毎の記念日企画やプレゼントキャンペーンの提案等、小売店と連携した店頭販売促進活動を実施したことにより、前年同四半期を上回る状況で推移し、「ハーブのお酒」の売上高は240百万円(前年同四半期比3.6%増)となりました。

「食べる前のうるる酢」につきましては、平成26年3月より「食べる前のうるる酢ビューティー」を関東1都6県のスーパーマーケットで発売しラインナップを強化し、春先にテレビスポット広告による認知度の向上を図るとともに、スーパーマーケット店頭での試飲会に注力しました。また、ウェブ広告、積極的なサンプリング活動や通信販売の強化、販路の拡大に努めました。「食べる前のうるる酢」の売上高は「食べる前のうるる酢ビューティー」の売上が寄与し122百万円(前年同四半期比116.8%増)となりました。

「くらすわ」につきましては、レストランは前年同四半期を下回る状況で推移し、ショップは販売分析に基づいた商品の入替や利益率の高いオリジナル商品の開発・投入により前年同四半期並みとなりましたが、販路の拡大に

取り組んだことにより、「くらすわ」の売上高は334百万円(前年同四半期比15.7%増)となりました。

以上の結果、「ハーブのお酒」、「食べる前のうるる酢」、「くらすわ」にその他の商品・サービスを加え、「その他商品・サービス」全体の売上高は828百万円(前年同四半期比15.8%増)となりました。

②その他

不動産賃貸と平成25年7月に稼働した鶴ヶ島太陽光発電所の売上を合算し、売上高は187百万円(前年同四半期比57.8%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ3,299百万円増加し、40,358百万円となりました。これは主に売掛金が1,449百万円、投資有価証券及び関係会社株式に含まれる保有株式が時価評価の増加等により1,458百万円、退職給付に関する会計基準等の改正等により投資その他の資産のその他に含まれる前払年金費用が438百万円それぞれ増加したことによるものであります。

負債は、前事業年度末に比べ928百万円増加し、5,555百万円となりました。これは主に流動負債のその他に含まれる未払消費税等が210百万円、固定負債のその他に含まれる繰延税金負債が643百万円それぞれ増加したことによるものであります。

純資産は、前事業年度末に比べ2,371百万円増加し、34,802百万円となりました。これは主に退職給付に関する会計基準等の改正による期首の繰越利益剰余金256百万円の計上、四半期純利益1,621百万円の計上と配当金493百万円の支払により利益剰余金が1,385百万円、その他有価証券評価差額金が986百万円それぞれ増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年10月29日発表の通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更しました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期累計期間の期首の前払年金費用が395,121千円、利益剰余金が256,434千円それぞれ増加しております。なお、当第3四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,639,381	2,241,943
売掛金	2,562,436	4,011,453
有価証券	3,102,513	4,299,694
商品及び製品	379,278	284,910
仕掛品	161,482	163,204
原材料及び貯蔵品	487,122	444,310
その他	209,376	243,978
流動資産合計	9,541,590	11,689,496
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	3,178,880	3,031,326
その他(純額)	3,264,142	3,246,421
有形固定資産合計	6,443,023	6,277,748
無形固定資産		
	26,883	24,239
投資その他の資産		
投資有価証券	14,412,223	14,833,792
長期預金	4,100,000	4,800,000
その他	2,539,865	2,737,743
貸倒引当金	△5,058	△5,000
投資その他の資産合計	21,047,030	22,366,536
固定資産合計	27,516,937	28,668,524
資産合計	37,058,528	40,358,020
負債の部		
流動負債		
買掛金	262,448	367,009
未払法人税等	473,052	371,050
賞与引当金	244,102	109,074
その他	1,508,340	1,850,378
流動負債合計	2,487,944	2,697,512
固定負債		
役員退職慰労引当金	48,350	48,350
その他	2,090,984	2,809,859
固定負債合計	2,139,334	2,858,209
負債合計	4,627,278	5,555,722

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成26年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,650,000	1,650,000
資本剰余金	676,680	676,680
利益剰余金	32,755,411	34,140,568
自己株式	△5,014,677	△5,015,587
株主資本合計	30,067,413	31,451,661
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,363,835	3,350,636
評価・換算差額等合計	2,363,835	3,350,636
純資産合計	32,431,249	34,802,297
負債純資産合計	37,058,528	40,358,020

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	10,205,983	10,307,516
売上原価	3,186,421	3,257,368
売上総利益	7,019,562	7,050,147
販売費及び一般管理費	5,069,385	5,107,189
営業利益	1,950,177	1,942,958
営業外収益		
受取利息	30,763	24,083
受取配当金	186,761	202,915
その他	14,086	47,594
営業外収益合計	231,611	274,594
営業外費用		
支払利息	9,605	10,608
その他	270	379
営業外費用合計	9,875	10,987
経常利益	2,171,913	2,206,565
特別利益		
固定資産売却益	1,500	260,428
投資有価証券売却益	680	—
抱合せ株式消滅差益	732,382	—
特別利益合計	734,562	260,428
特別損失		
固定資産除却損	8,480	27,688
減損損失	628,606	—
特別損失合計	637,086	27,688
税引前四半期純利益	2,269,388	2,439,304
法人税、住民税及び事業税	694,000	769,000
法人税等調整額	17,689	48,318
法人税等合計	711,689	817,318
四半期純利益	1,557,699	1,621,986

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。